

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会
平成 20 年度 幹事会 会議録（要旨）

1. 概要

- 1) 開催日時 : 平成 20 年 11 月 27 日 (木) 10:00 ~ 11:30
- 2) 場 所 : 函館開発建設部 地下会議室
- 3) 出席者 : 別表 に記載
- 4) 議 事 : (1) 幹事会について
(2) 冠水想定箇所図の情報共有と連絡体制
(3) 協議会での検討事項
(4) 今年度の会議等の開催予定

2. 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料 1
- ・ 委員、実務担当者一覧
- ・ 災害時等情報連絡先一覧

3. 議事内容

3-1. 議事 1 幹事会について

- ・ 事務局より、幹事会開催の背景、事務内容、各会議の位置付け等について説明を行った。

(函館市) 地区別ワーキンググループはどのような地区分けとなるのか。

(事務局) 管内を東部、西部、北部の 3 地区に分けて実施することとなる。

3-2. 議事 2 浸水想定箇所図の情報共有と連絡体制

- ・ 事務局より、浸水想定箇所図の作成経緯ととりまとめ結果について説明を行った。

(説明要旨)

- ・ 平成 20 年 8 月 (鹿沼市) と 9 月 (広島市) で発生した集中豪雨によるアンダーパス部の冠水事故を受け、国土交通省から都道府県、政令指定都市、道路担当部局、消防防災担当部局に連絡があったことは事前の周知のとおりである。また、北海道開発局に対しても対策強化の指示があったところである。
- ・ 指示のなかには、アンダーパス部など局部的に急低下している箇所を予め抽出し、防災関係機関と情報の共有をすることが必要であるとされており、このことについて調査を行い、浸水想定箇所図を作成した。管内では七飯町の道道と JR の交差部、木古内町の町道と JR の交差部の 2 箇所である。

- ・併せて、連絡体制の強化を図るということも必要とされているが、協議会では「災害時等情報連絡先一覧」を作成しており、これを活用することとしたい。「災害時等情報連絡先一覧」は、夜間、休日でも確実に連絡が取れる窓口として作成したものである。
- ・また、緊急の場合においても、複数の箇所と同じ情報を伝える場合にはメールが有効であると考えており、今後メールアドレスを調査して「災害時等情報連絡先一覧」に記載したいと考えている。

(渡島支庁) 冠水想定箇所図について、①調査の方法や降水量との関係はあるのか、②七飯町の役場のほうにはこのデータはいつているのか、③例えばある一定以上の雨が降れば、事前交通止めとするような整理や、FM いるかなどの報道機関に流すなど、周知の方法も検討したほうがよいのではないか。

(事務局) ①縦断的に低下している部分ということで、本局（地方整備課）から道庁を通じて各市町村に確認を行った結果であり、雨量との関連性はない。②当協議会の各構成機関にはメールしている、③周知広報については今後の作業と考えている。

(渡島支庁) 当該箇所は避難路になっているはずなので、通れないという話しになれば問題となりうる。雨量データを加味したなかで選定されたのかと思い質問した。今後は各町村や各道路管理者と打合せをしたなかで、一般への周知も検討していく必要がある。

(座長) 避難路に指定されているところが降雨の時に危険箇所だという印象を与えかねない。広報周知にあたっては避難路を確認整理してからとなる。

(土現) 七飯大野線はかなり下り勾配で、広島県のような水没の危険性はあまりない。急激に雨が降っても浸水したということは今までない。溜まっても流れきれない水は10cmか20cmぐらい溜まる程度かなという認識である。

(函館方面本部) 一報が来るのは警察である。大体連絡がくるところは同じ箇所であるが、そういう箇所が入っていない。アンダーパスは本当にこれしかないのか。この調査は警察には来なかった。冠水想定箇所はこれだけではないという感じを受ける。例えば「おぼけトンネル」は頻繁に浸水するし、北斗市にも低地でいつも浸水するところもある。秋過ぎ頃は枯葉が詰まることがあるが、枯葉を取ったら15～20分で解除されるような所もある。情報の交換が必要であると感じた。

(座長) この件については、前後に比較して縦断的に下がってる部分をピックアップしたといったような状況で作業されていると思われる。本日の意見を踏まえ、再度整理し、扱い方について考えていく必要がある。

3-3. 議事3 協議会での検討事項

- ・事務局より、協議会での当面の検討課題ならびに昨年度までの作業結果と今年度以降の進め方について説明した。
- ・項目別の説明要旨と質問の内容は次のとおりである。

■ 豪雪時における連携体制の検討

- ・ 土地管理者との協議を行い、その結果により、協定締結に向けた作業、あるいは新たな候補地を選定。
- ・ 幹事会の後に函館市と事前協議を実施（予定）。
- ・ 各道路管理者の除雪作業の内容や連絡網、機械貸し出し手順などは昨年度に整理を行っており、今年度版の確認作業を行う。

（函館市）港湾地区となれば他の部局（港湾空港部）とも調整が必要となる。

（事務局）認識している。協議会の委員が総務課となっているため、総務課には事前打診や、港湾空港部、土木部との調整をお願いしたいと考えている。

■ 津波対応に関する検討

- ・ 危険箇所の確認を行うとともに、各機関の組織の位置や配置人員等の整理、考えられる規制（交通誘導）箇所を検討する。
- ・ 今年度は2月頃に津波のワキンググループの開催を予定している。
- ・ 検討は次年度以降も継続するが、整理できるところから形にしていく。

■ 道路利用者等への情報提供

- ・ 必要に応じて地区別ワキンググループの議題とする。
- ・ インターネットには非常に多くの情報があるが、実際にはどこに何があるのかが分かりづらい状況ともなっているため、道路情報をはじめとする防災情報としてどのようなものがあるかを整理し、総会などで周知しておくことも必要であると考えている。

■ 防災WANの整備推進と機能強化

- ・ 当面は、防災WANの整備の推進を図ることとなる。
- ・ ある程度の機関数が接続となった段階で、機能強化に関する検討を行う。

■ 災害時等の情報連絡先一覧の更新

- ・ 年度ごとに更新調査を行い、適宜配布する。変更受け付けは随時。

■ 定期的な防災講演会や講習会の企画開催

- ・ 隔年を目途に、情勢的にタイムリーなテーマを中心として開催を企画。
- ・ 次回は、平成21年度の開催を予定し、テーマは幹事会やワキンググループ等で募集する。

■ 協議会ホームページの活用

- ・ 継続して運用するとともに、今年度は防災情報図の掲載を行う。
- ・ H21以降：年次更新と情報共有機能の充実

■ 防災情報図の更新

- ・ 更新調査を行い、ホームページに掲載する。

（函館方面本部）道路情報板が非常に増えているが、防災情報図への掲載と配布はいつ頃を考えているのか。

（事務局）今後更新調査を実施する。年度内には修正、配布する。

■ その他

（函館方面本部）道路規制情報のメール配信などは考えていないのか。

（事務局）内部的には試行段階である。

(事務局) ナビ通信というのはできないものか。

(函館方面本部) ナビが対応していないと機能が使えないため、普及にはまだ時間が掛かると思われる。

(渡島支庁) 管内の光ファイバの敷設状況について教えて欲しい。

(事務局) 80%台程度である。

3-4. 議事4 今年度の会議等の開催予定

- ・ 事務局より、協議会の今年度の会議等の開催予定について説明を行った。
- ・ 併せて、各機関が予定している会議等の開催予定について確認を行った。

(説明要旨)

- ・ 12月に豪雪時除雪体制ワーキンググループ、1月に地区別の第5回ワーキンググループ、2月に第2回の津波対応に関するワーキンググループ、3月に第11回協議会(総会)を予定している。
- ・ 残り少ない月数のなかでの実施なので、同日開催もあるかと思う。日程等の詳細が決まれば改めて案内をさせて頂く。

(渡島支庁) 来年の9月に駒ヶ岳の火山防災の総合訓練を北海道渡島支庁と駒ヶ岳の火山防災協議会で計画をしており、その第一回打合せを1月の中旬、第2週か3週に予定しており、現在日程を調整中である。

(渡島支庁) 毎年実施している駒ヶ岳の火山防災の泥流対策関係会議を2月の18日から23日に予定している。

(座長) どのような機関が参加するのか。時間はどの程度か。

(渡島支庁) 開発建設部、自衛隊等を含めて40機関程度。協議会構成機関はほとんどである。泥流のほうは1時間半を目処で考えており、駒ヶ岳のほうは事務担当者のレベルである。

以上

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会

平成 20 年度 幹事会 出席者

| 機関名 | 部署 | 役職 | 氏名 | 備考 |
|-----|-------------|-------------|---------|--------|
| 1 | 渡島支庁 | 地域振興部 地域政策課 | 主査 | 大谷 聡 |
| 2 | 檜山支庁 | 地域振興部 地域政策課 | 主事 | 山田 圭佑 |
| 3 | 函館土木現業所 | 企画調整室 | 室長 | 野々村 清隆 |
| | | 管理課 | 課長 | 式部 義則 |
| | | 道路建設課 | 課長 | 有澤 貴博 |
| 4 | 北海道警察函館方面本部 | 警備課 | 災害係長 | 嶋本 貴士 |
| | | | 災害係主任 | 和島 史武 |
| | | 交通課 | 規制担当統括官 | 中村 勉 |
| 5 | 函館市 | 総務課 | 主査 | 花岡 勇 |
| 6 | 江差町 | 建設課 | 主幹 | 大坂 敏文 |
| 7 | 函館海洋气象台 | 業務課 | 課長 | 若木 静夫 |
| | | | 地震津波防災官 | 家常 昌洋 |
| 8 | 函館開発建設部 | 工務課 | 課長 | 佐藤 修也 |
| | | | 道路維持専門官 | 加藤 智彦 |
| | | | 道路防災係 | 佐藤 優 |
| | | 防災対策官 | 防災対策官 | 花田 行弘 |
| | | | 防災対策専門官 | 小松 正則 |

8 機関組織 17 名